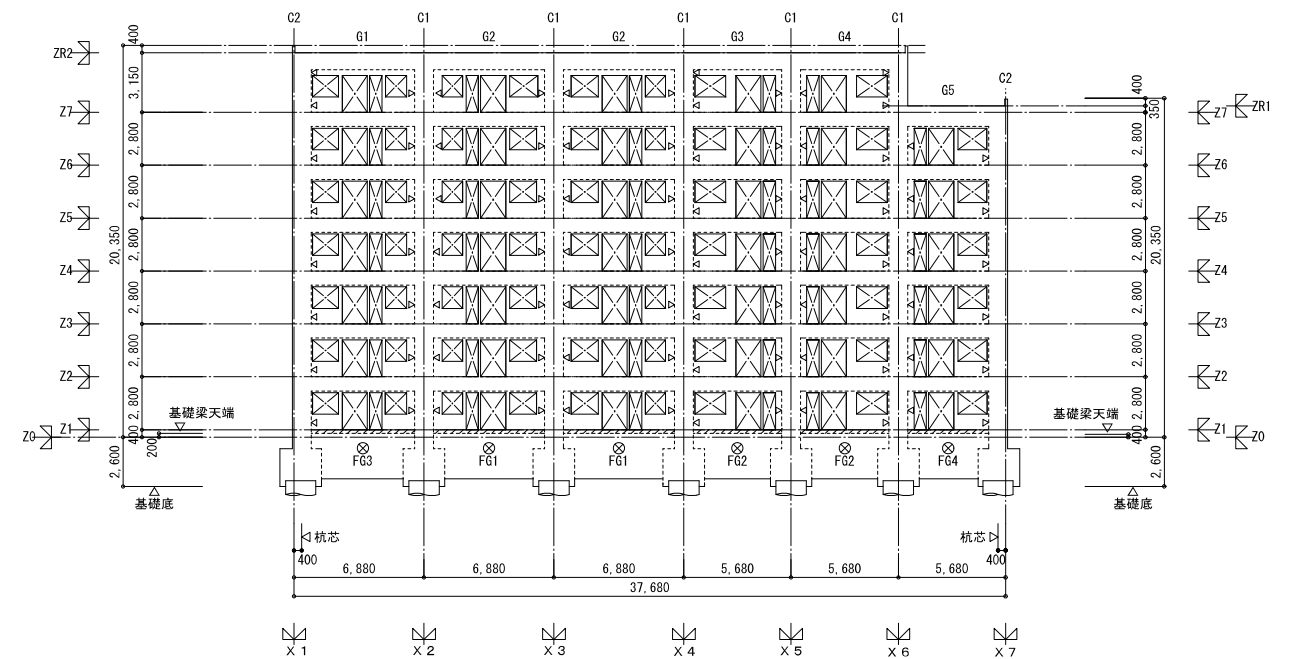
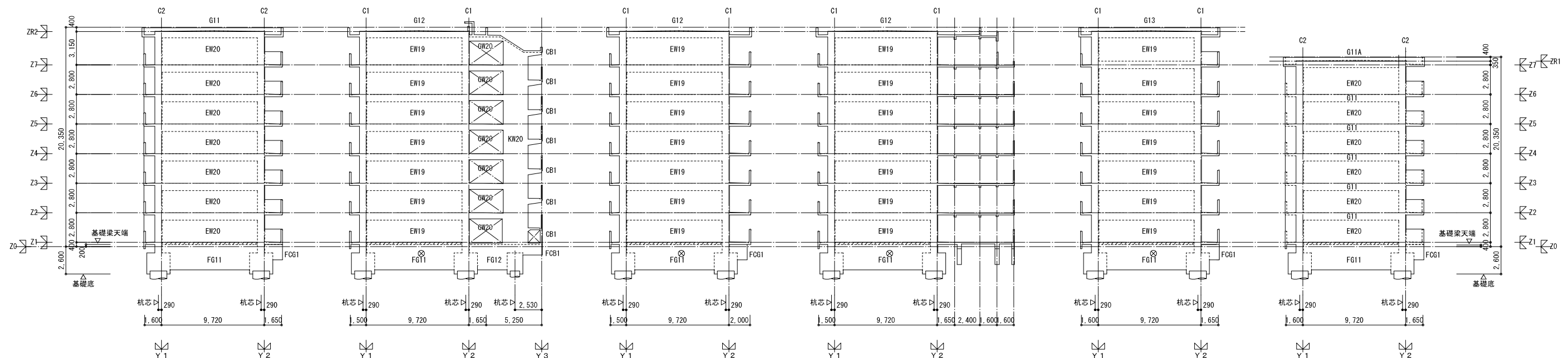


Y1通軸組図 S=1/200



Y2通軸組図 S=1/200



X1通軸組図 S=1/200

X2通軸組図 S=1/200

X3, X4通軸組図 S=1/200

X5通軸組図 S=1/200

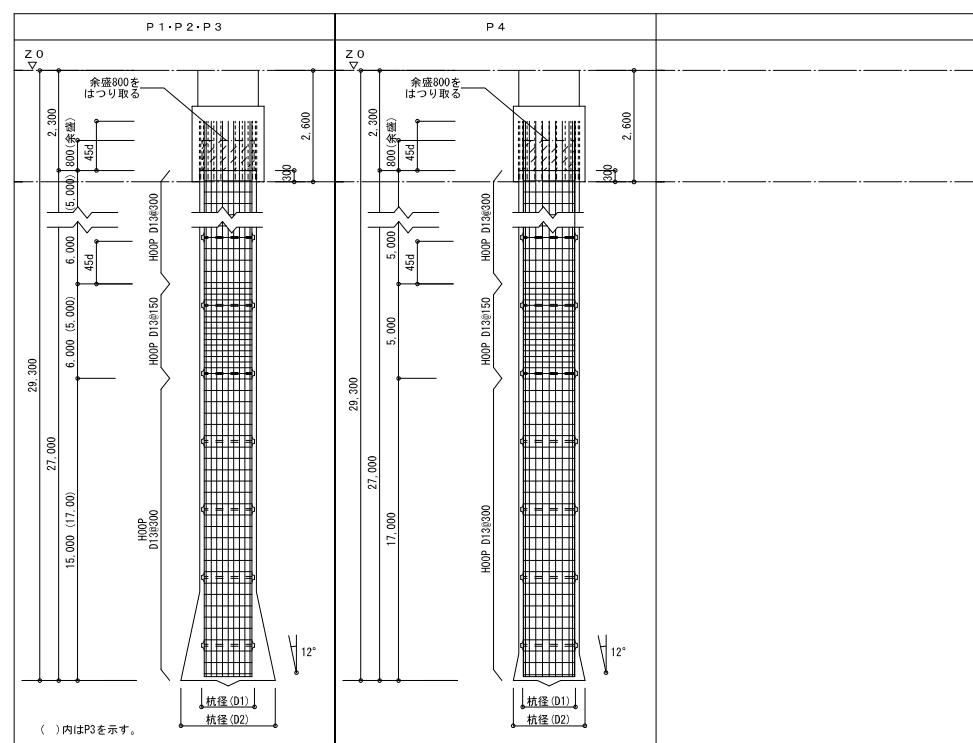
X6通軸組図 S=1/200

X7通軸組図 S=1/200

注) 特記なき限り下記とする。
 1. トエ はスリット位置を示す。
 2. RFスラブ天端は意匠図による。
 3. は、梁+250増打を示す。(ZRは梁+500増打を示す。)
 4. 特記なき壁はW12とする。
 5. ⊗は人通孔を示す。(人通孔上下方向位置は、梁中央付近とする。)

株式会社 E R Cデザイン		株式会社 黒川建築事務所		平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦		一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦		軸組図		縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
検 図	製 図	設 計 平成29年 3月		愛知県建設部建築局公営住宅課		

符号	P1	P2	P3	P4
凡例				
杭径D1	1,300	1,300	1,000	1,000
杭径D2	設計径: 2,400 施工径: 2,500	設計径: 1,500 施工径: 1,600	設計径: 1,800 施工径: 1,900	設計径: 1,200 施工径: 1,300
Df	2,600	2,600	2,600	2,600
Lφ	27,000	27,000	27,000	27,000
本数	10本	4本	1本	3本
長期耐力	5.120 kN/本	3.630 kN/本	4.030 kN/本	2.560 kN/本
短期耐力	10.240 kN/本	7.260 kN/本	8.060 kN/本	5.120 kN/本
断面				
アンカー筋	外側22-D35 (内側20-D35)	外側22-D35 (内側20-D35)	外側18-D35 (内側12-D32)	外側18-D35 (内側12-D32)
断面				
L1	6,000	6,000	5,000	5,000
鋼管	φ1300×9mm	φ1300×9mm	φ1000×9mm	φ1000×9mm
主筋	20-D35	20-D35	12-D32	12-D32
HOOP	○-D13@300	○-D13@300	○-D13@300	○-D13@300
断面				
L2	6,000	6,000	5,000	5,000
主筋	20-D35	20-D35	12-D29	12-D29
HOOP	○-D13@150	○-D13@150	○-D13@150	○-D13@150
断面				
L3	15,000	15,000	17,000	17,000
主筋	20-D35	20-D35	6-D29	6-D29
HOOP	○-D13@300	○-D13@300	○-D13@300	○-D13@300

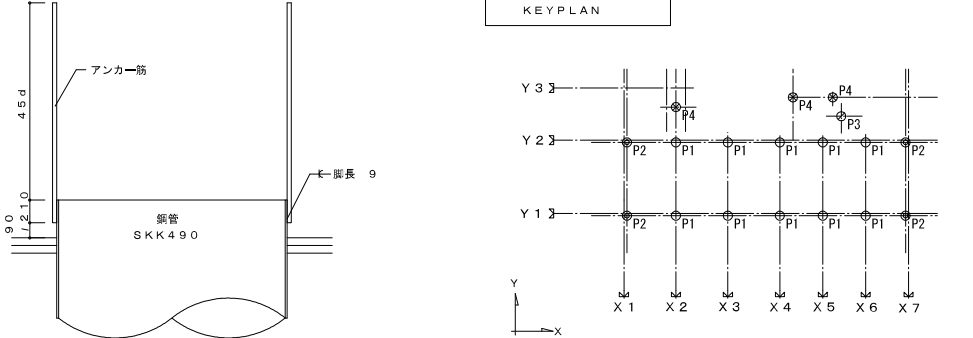
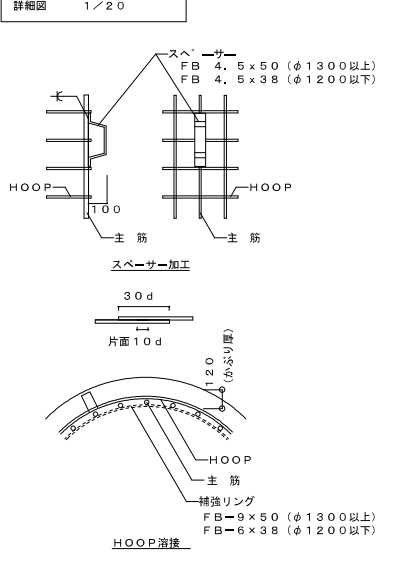


()内はP3を示す。

場所打ちコンクリート杭地業特記仕様書 (アースドリル工法) (KCTB場所打ち鋼管コンクリート杭同等工法)

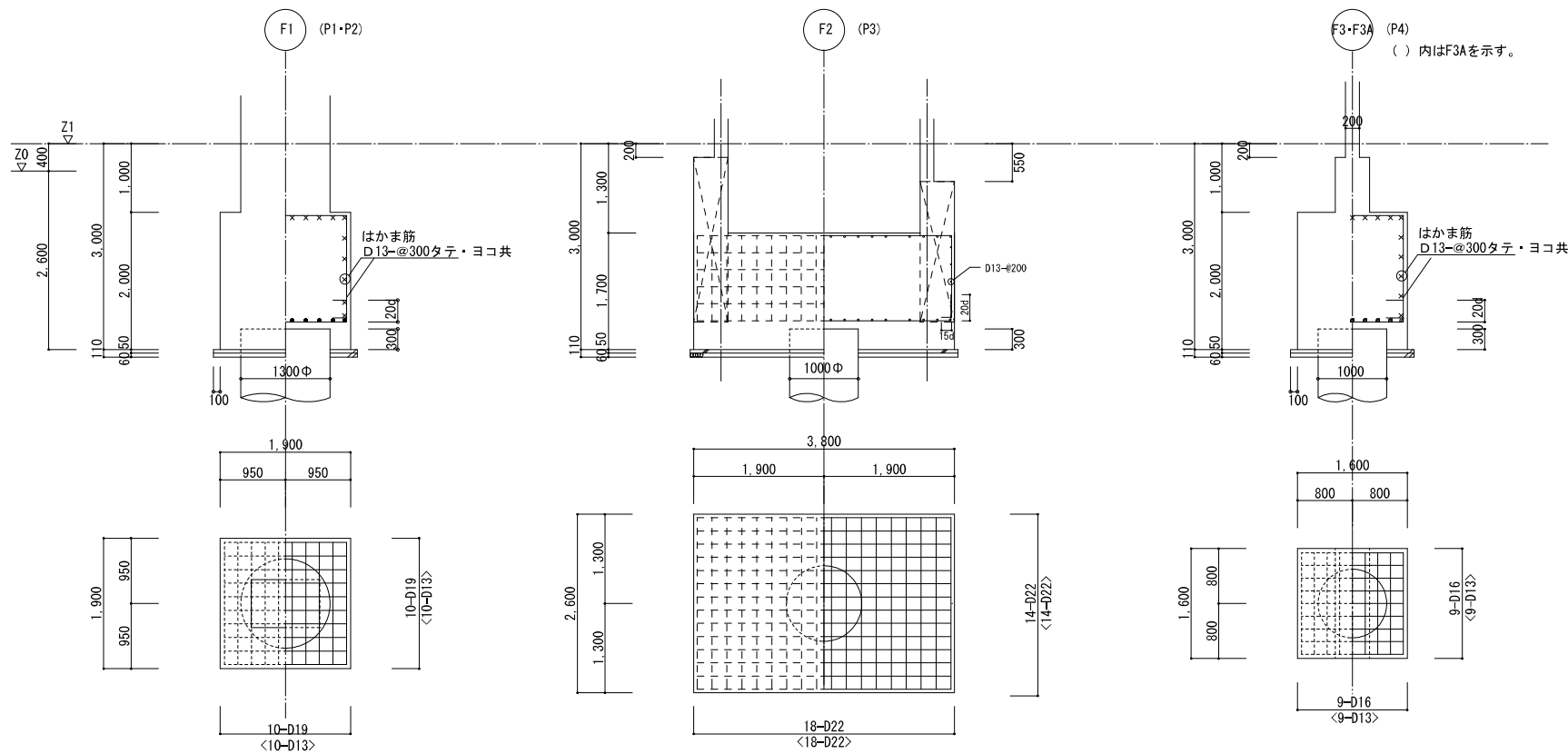
- 本仕様書に特記なき事項は、公共住宅建設工事共通仕様書及び日本建築学会の「場所打ちコンクリート杭のコンクリートに関する施工指針・同解説」により施工する。
- 杭先端部拡張及び杭頭鋼管巻きコンクリートについては、日本建築センターの評定を取得した工法とする。
- 着工前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。
- 杭のコンクリートは $f_c = 30 \text{ N/mm}^2$ (所要スランプ18cm、水セメント比5%以下、単位セメント量 350 kg/m^3 以上とする)。
- 杭の鉄筋は、特記なき限りSD295A (D13~D16)、SD345 (D19~D25)、SD390 (D29~D35)とする。
- 杭の鋼管巻きコンクリートの材質は、特記なき限りJISA5525「鋼管い」SKK490とする。
- 杭頭鋼管巻きコンクリート杭の鋼管は、内面全長突起とする。(KCTB同等品) 鋼管および突起部の材質はJISA5525「鋼管い」SKK490に規定されたものとする。
- 杭の鉄筋のかぶり厚は100mm以上とする。
- 主筋の重ね継手長さは、45d以上とし、3カ所以上を#10の鉄線にて結束する。
- フープは円形加工とし、重ね継手を溶接する。溶接長さは片側の場合10d以上、両側の場合5d以上とする。組み立ては主筋との交点を径0.8mm以上の鉄線にて結束する。
- 補強リングは、1期につき3箇所程度(φ3.0m程度)入れ、主筋の全交点に堅固に溶接する。溶接長さは補強材の幅とする。補強リングの材質・サイズは以下の表による。

杭の軸径が1.2m以下の場合	補強リングの材質・サイズ
鋼板 SS400 4.5×38 (mm)	
杭の軸径が1.2mを超える場合	鋼板 SS400 9.0×50 (mm)



株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	杭リスト	縮尺 A1: 1/40, 100 A3: 1/80, 200	No.S15
検 図	製 図	設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		

< >は上端筋を示す。



構造特記				
コンクリート	躯体	5F柱~RF梁	$F_c = 27N/mm^2$ (設計強度)	水セメント比: 50%以下
		3F柱~5F梁	$F_c = 30N/mm^2$ (設計強度)	スラブ: JASS5による
		1F柱~3F梁	$F_c = 33N/mm^2$ (設計強度)	コンクリート中の単位水量: 185kg/m ³ 以下
		基礎	$F_c = 33N/mm^2$ (設計強度)	コンクリート中の空気量: 4%~6%
	土間	$F_c = 18N/mm^2$ (設計強度)		
	捨て	$F_c = 18N/mm^2$ (設計強度)		
鉄筋	D16以下	SD295A	重ね継手 (JIS規格品)	※せん断補強筋の一部をD13(SD345)とする。
	D19以上	SD345	ガス圧接 (JIS規格品)	
	D29以上	SD390	ガス圧接 (JIS規格品)	

鉄筋の最小かぶり厚さ			
土留め部分	耐力壁・耐力柱・梁	屋内	20
		屋外	30
土留め部分	柱・梁・床・基礎立上がり部分	屋内	30
		屋外	40
土留め部分		基礎(立上がり部分を除く)	40
土留め部分		基礎(立上がり部分を除く)	60

※埋め込み厚さは10mmとする。
※埋め込み厚=鉄筋加工寸法 (スベーク管理前) とする。

コンクリート施工計画

- 打込み、締め固め
 - 打継ぎ部処理方法
 - 養生方法
 - 型枠及び支柱の除去
- JASS5に基づく方法による

構造部材等の耐久性 (基準法適合)

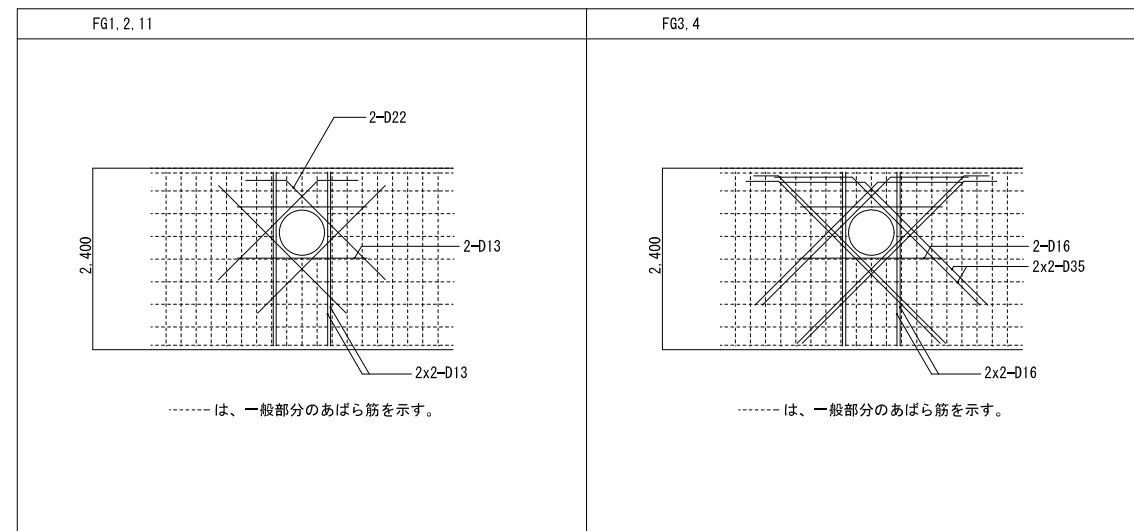
- 構造部材の耐久性が令第37条に適合
- コンクリートの材料が令第72条に適合
- コンクリートの強度が令第74条に適合
- コンクリートの養生が令第75条に適合
- 鉄筋のかぶり厚さが令第79条に適合
- 構造方法に関する補足基準、令第80条の2に適合
- 平成13年国交告1025号に適合
- 令第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては建設告示第1388号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

基礎梁リスト 1/50

・特記なき巾止め筋はD10-@100とする。・特記なき限り柱梁接合部の水平投影長さは0.75D以上とする。

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12			FCG1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			全断面
断面									
b x D	600 x 2400	600 x 2400	600 x 2400	600 x 2400	600 x 2400	600 x 2400			350 x 1450
上端筋	7-D35	7-D35	13-D35	13-D35	13-D35	7-D35			4-D22
下端筋	7-D35	7-D35	13-D35	13-D35	13-D35	7-D35			3-D22
STP	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200			□-D10@200
腹筋	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13	12-D13			6-D13

人通孔補強要領 1/50



基礎小梁リスト 1/50

特記なき巾止め筋はD10-@100とする。

符号	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6		FCB1	FCB2
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	両端	中央	全断面	全断面
断面									
b x D	300 x 1450	250 x 1450	250 x 800	500 x 2400	500 x 2050	300 x 1000		500 x 1000	350 x 800
上端筋	3-D19	2-D19	2-D19	8-D35	8-D35	3-D19	3-D19	4-D35	3-D22
下端筋	3-D19	2-D19	2-D19	8-D35	8-D35	3-D19	5-D19	3-D35	3-D22
STP	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D13@100	□-D13@100	□-D10@200		□-D13@200	□-D10@200
腹筋	6-D13	6-D13	2-D13	12-D13	10-D13	4-D13		4-D13	2-D13

株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	基礎・基礎梁リスト	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No.S16
検 図	製 図	設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		

柱リスト 1/50 特記なき柱帯筋は溶接閉鎖型とする(仕口部含む)。

符号	C1	C2		
7階 (Fc27)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	8-D25+8-D16	8-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
6階 (Fc27)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	8-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
5階 (Fc27)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	10-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
4階 (Fc30)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	10-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
3階 (Fc30)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	10-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
2階 (Fc33)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	10-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100	□-D13-@100		
備考				
1階 (Fc33)				
b x D	1000 x 700	900 x 700		
主筋	12-D25+8-D16	12-D25+6-D16		
帯筋	□-D13-@100 (SD345)	□-D13-@100		
備考				

スラブリスト 1/50 特記なき巾止め筋はD10-@100以下とする。

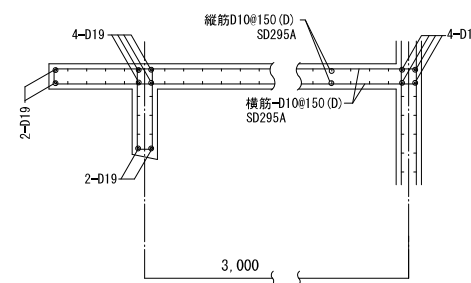
符号	スラブ厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
S1	180	上端筋	D13-@200	D10-13-@200	
		下端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
S2	180	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S3	150~180	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S4	150~180	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S5	150	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S6	200	上端筋	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D10-D13-@200	D10-D13-@200	
S7	130以上	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
S8	150	上端筋	D10-D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS1	基礎先端 220~180	上端筋	D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS2	基礎先端 220~180	上端筋	D13-@150	D10-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@200	
CS3	基礎先端 200~130	上端筋	D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS3A	基礎先端 200~130	上端筋	D13-@100	D10-@200	
		下端筋	D13-@200	D10-@200	
CS4	基礎先端 200~130	上端筋	D13-@100	D10-@200	
		下端筋	D13-@200	D10-@200	
CS5	160以上	上端筋	D13-@150	D10-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@200	
CS6	160以上	上端筋	D13-@100	D10-@200	
		下端筋	D13-@200	D10-@200	
CS7	150以上	上端筋	D13-@200	D10-@200	
		下端筋	D10-@200	D10-@200	
CS8	150以上	上端筋	D13-@100	D10-@200	
		下端筋	D13-@200	D10-@200	
CS9	150以上	上端筋	D10-D13-@150	D10-@200	
		下端筋	D10-@150	D10-@200	
CS10	基礎先端 190~160	上端筋	D10-D13-@100	D10-@200	
		上端筋	D10-@100	D10-@200	

壁リスト 1/50

・特記なき限り、ダブル配筋は縦筋を内側とする。配筋は標準配筋図に準ずること。
 ・EW18, EW20については横筋を巾止め筋にて拘束する。・W20, KW20については縦筋を巾止め筋にて拘束する。

符号	W12	W20	EW19	EW20	KW20		
厚	120	200	190	200	200		
水平断面							
縦筋	D10-@200シングル	D10-@150ダブル	D10-@150ダブル	D10-@150ダブル	D13-@200ダブル		
横筋	D10-@200シングル	D10-@150ダブル	D10-@150ダブル	D10-@150ダブル	D13-@200ダブル		
巾止め筋		D10-@1000以下	D10-@750以下	D10-@750以下	D10-@1000以下		
開口	縦筋	1-D13	2-D19	—	—		
	横筋	1-D13	2-D19	—	—		
補強	斜め筋	1-D13	2-D13	—	—		

EV壁端部配筋詳細図 1/30



株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	柱・スラブ・壁リスト	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No. S17
検 図	製 図	設 計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

・特記なき腹筋は2-D13、中止め筋はD10-@1000とする。
 ・特記なき隅り、柱梁接合部の水平投影長さは0.75D以上とする。

・本図の他、中空スラブ図面により、ねじれ補強筋及び腹筋を配筋すること。
 ・G6の施工誤差は5mmとして、梁巾190mm内に配筋すること。

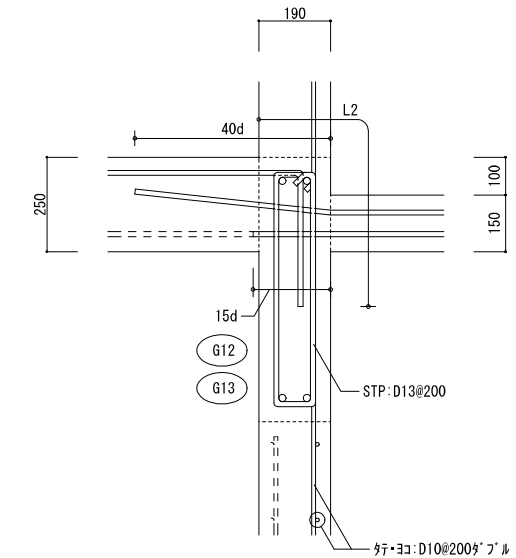
符号	G1	G2	G3	G4	G5		G7	G8	G11	G11A	G12	G13
位置	全域	全域	全域	全域	全域		全域	全域	全域	全域	全域	全域
R階 (Fc27)												
b x D	450 x 900	450 x 900	450 x 900	450 x 900	450 x 900				350 x 600	350 x 600	400 x 500	350 x 600
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22				3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22				3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
STP	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@200				□ -D10@200	□ -D13@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13							
7階 (Fc27)												
b x D	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 750	450 x 1100				350 x 600	350 x 600	190 x 600	350 x 600
上端筋	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25				3-D19	3-D19	2-D16	3-D19
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25				3-D19	3-D19	2-D16	3-D19
STP	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@200				□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋					4-D13							
6階 (Fc27)												
b x D	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750				350 x 600	350 x 600	190 x 600	190 x 600
上端筋	5-D29	5-D29	6-D29	6-D29	5-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
STP	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@150				□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋												
5階 (Fc30)												
b x D	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750	500 x 750				350 x 600	350 x 600	190 x 600	190 x 600
上端筋	7-D29	7-D29	7-D29	8-D29	7-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	5-D29	5-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
STP	□ -D13@200	□ -D13@200	□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D13@100				□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋												
4階 (Fc30)												
b x D	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750				350 x 600	350 x 600	190 x 600	190 x 600
上端筋	7-D29	7-D29	8-D29	9-D29	8-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
下端筋	5-D29	5-D29	6-D29	7-D29	6-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
STP	□ -D13@150	□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@100				□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋												
3階 (Fc33)												
b x D	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750				350 x 600	350 x 600	190 x 600	190 x 600
上端筋	8-D29	8-D29	8-D29	9-D29	8-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
下端筋	6-D29	5-D29	6-D29	7-D29	7-D29				3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
STP	□ -D13@150	□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@100				□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋												
2階 (Fc33)												
b x D	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750	600 x 750		300 x 500	300 x 500	350 x 600	350 x 600	190 x 600	190 x 600
上端筋	8-D29	8-D29	8-D29	9-D29	8-D29		3-D25	3-D25	3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
下端筋	6-D29	5-D29	6-D29	7-D29	7-D29		3-D25	3-D25	3-D19	3-D19	2-D16	2-D16
STP	□ -D13@150	□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@100		□ -D13@150	□ -D13@100	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200
腹筋												

特記なき中止め筋はD10-@1000以下とする。

符号	B1	B2	B3	B4	B5
位置	X1端・中央	X2, X3, X4端	全断面	両端	中央
断面					
b x D	350 x 500	350 x 500	200 x 400	200 x 550	200 x 350
上端筋	3-D22	5-D22	3-D22	2-D16	4-D19
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	2-D16	2-D19
STP	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@150
腹筋	2-D10				

符号	B6	B7	B8	CB1	CB2
位置	全断面	全断面	全断面	基礎	先端
断面					
b x D	200 x 350	200 x 550	200 x 400	200 x 600 ~ 200x350	200 x 500 ~ 200x350
上端筋	3-D16	4-D16	3-D16	4-D19	4-D19
下端筋	3-D16	2-D16	3-D16	2-D19	2-D19
STP	□ -D10@150	□ -D10@200	□ -D10@200	□ -D10@150	□ -D10@150
腹筋					

X4・6通りスラブ下がり部の配筋詳細図 1/10



株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	梁・小梁リスト	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	No.S18
検 図	製 図	設 計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

中空スラブ標準仕様書

1. 適用範囲

- 本仕様は鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の中空スラブ工法に適用する。
- 本設計図面は鋼製ワインディングパイプ使用（以下パイプ）を前提として設計されたものであり、他のパイプに適用することはできない。
- 各項に対して別図などで詳細指示がある場合は、それに従うこと。

2. 使用部材

部材名称	材質	規格および材質
パイプ	亜鉛めっき鋼板	JIS-G3302 SGCC(相当品)
		JIS-G3313 SECC(相当品)

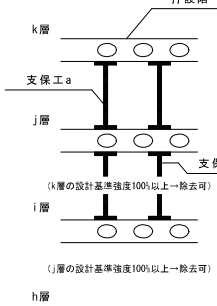
3. 中空スラブの施工

中空スラブの施工は下記に示す内容に準ずること。

- 日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」
- 日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事」
- (社)公共建築協会「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」

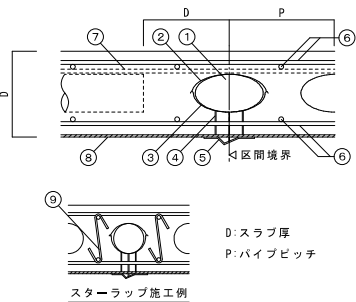
監理者の許可無くパイプ割付を変更しないこと。

4. 仮設支保工



- 支保工の張り替えは、行わないこと。
- 支保工の存置期間は、設計基準強度の100%以上のコンクリートの圧縮強度が得られたことが確認されるまでとする。構造計算により十分な安全が確認されるまでとする。（コンクリート打設後、4週以上が望ましい。）
- 多層の場合には、支保工二層分で打設層のスラブを受ける様に、打設層スラブ（k層）が上記の（2）を確認出来たうえで、支保工 b を除去できる。
- スラブ下の支保工を早期取り外しすると、有害なたわみの原因となるので留意のこと。
- 上記以外については、J A S S 5（日本建築学会）に従う。
- 上記記載なき支保工計画については、監理者の承諾を得ること。

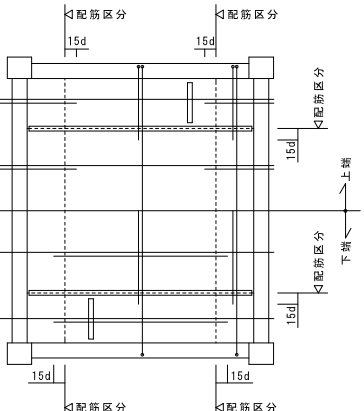
5. 中空スラブ標準構成図



符号	名称
1	パイプ
2	番線
3	安全物
4	受台
5	ウェッジ
6	スラブ筋
7	スペーサー筋
8	墊材
9	スターラップ(巾止め筋)

* 左図は構成図例を示す。従って、詳細構成、パイプ寸法、鉄筋かぶり、スペーサー筋有無、スターラップの有無等は、別途スラブリスト、中空スラブ断面図等を参照のこと。

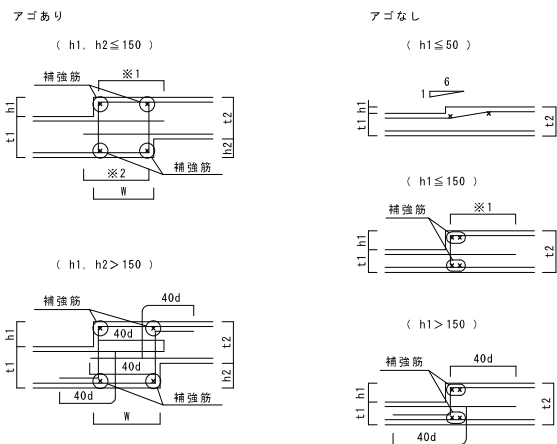
6. 配筋要領図・余長



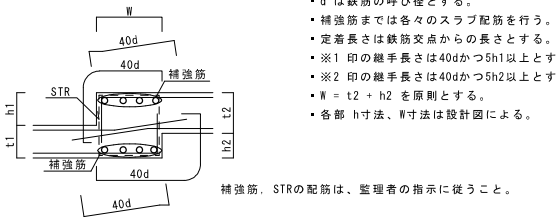
7. 段差部配筋要領図

コンクリート強度により継手、定着長を変更する場合は、監理者の指示に従うこと。

(a) 相互定着形式

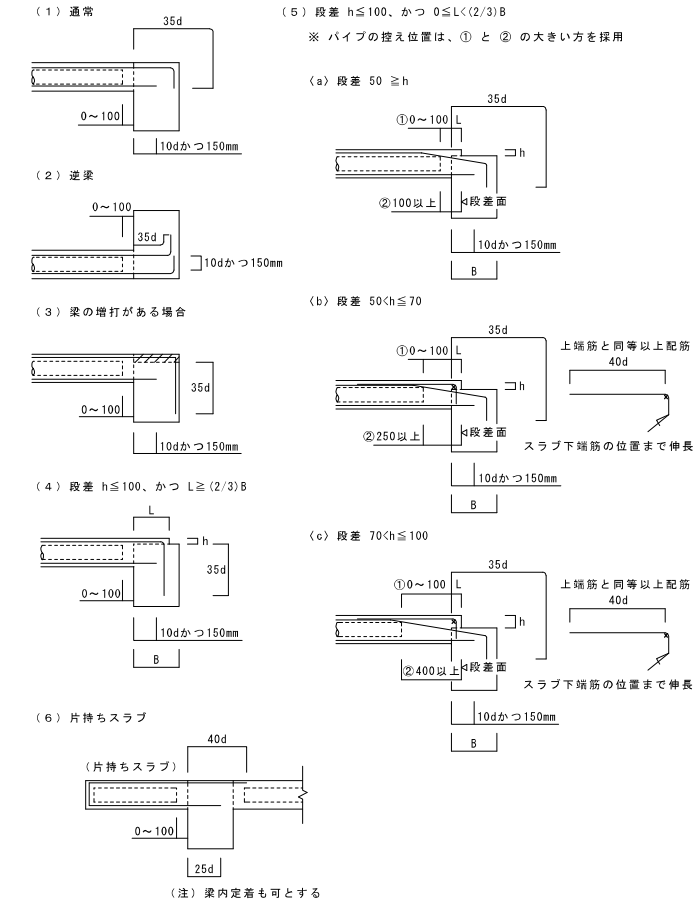


(b) スターラップ形式

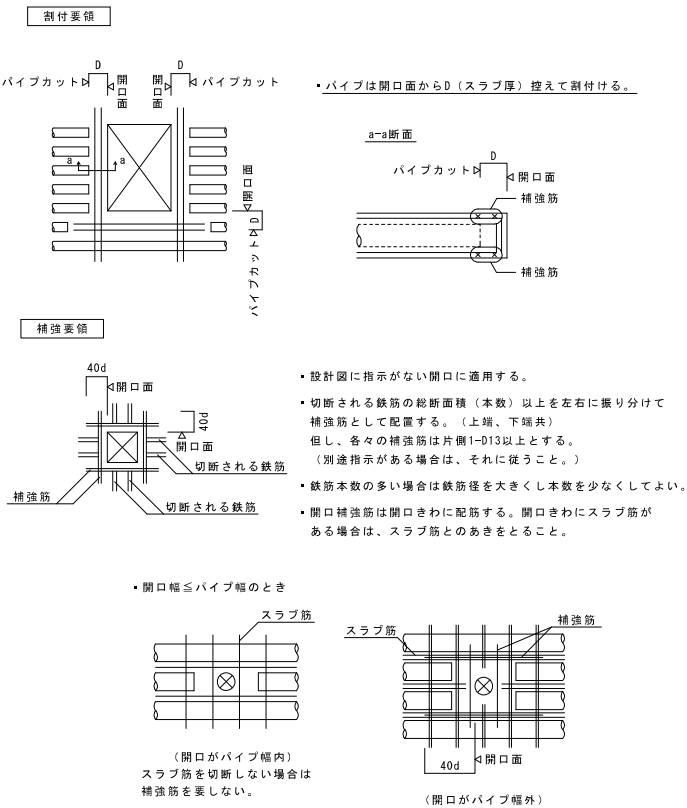


8. 大梁定着配筋要領

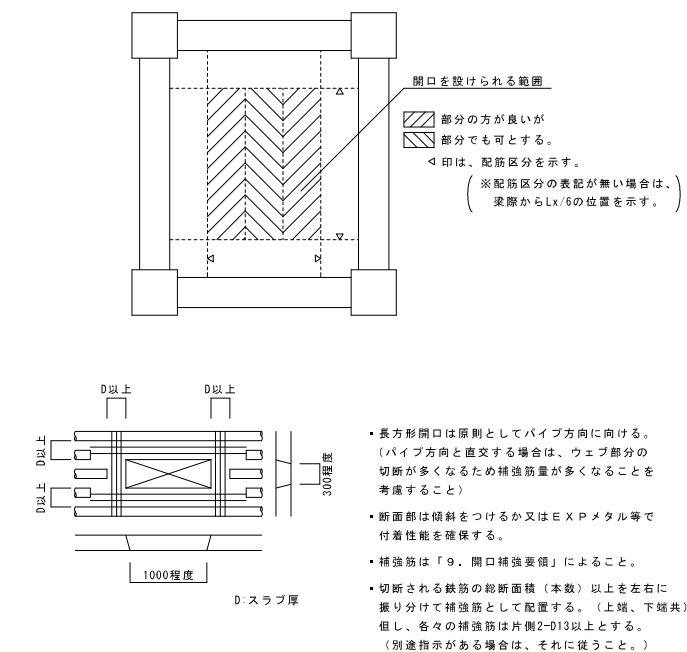
コンクリート強度により定着長を変更する場合は、監理者の指示に従うこと。
※ h>100の場合は、監理者の指示に従うこと。



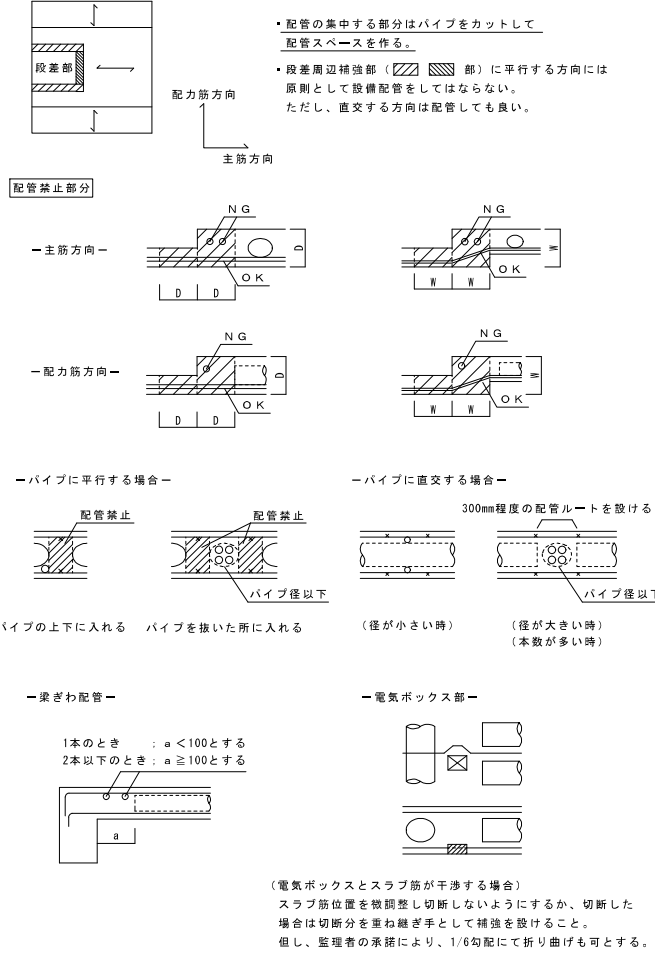
9. 開口割付・補強要領



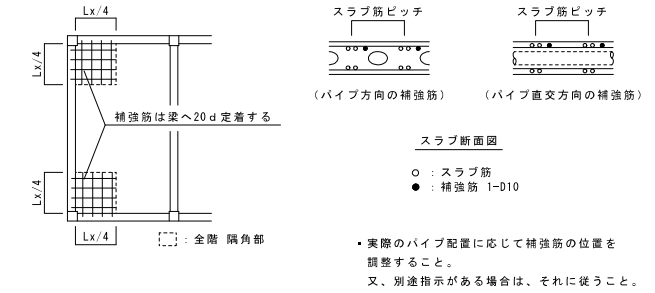
10. 仮設開口



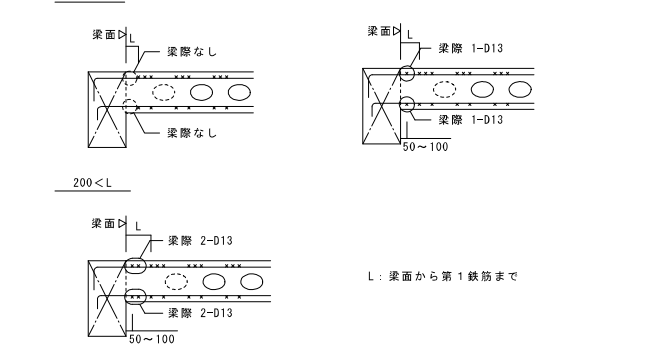
11. 中空スラブ内設備配管



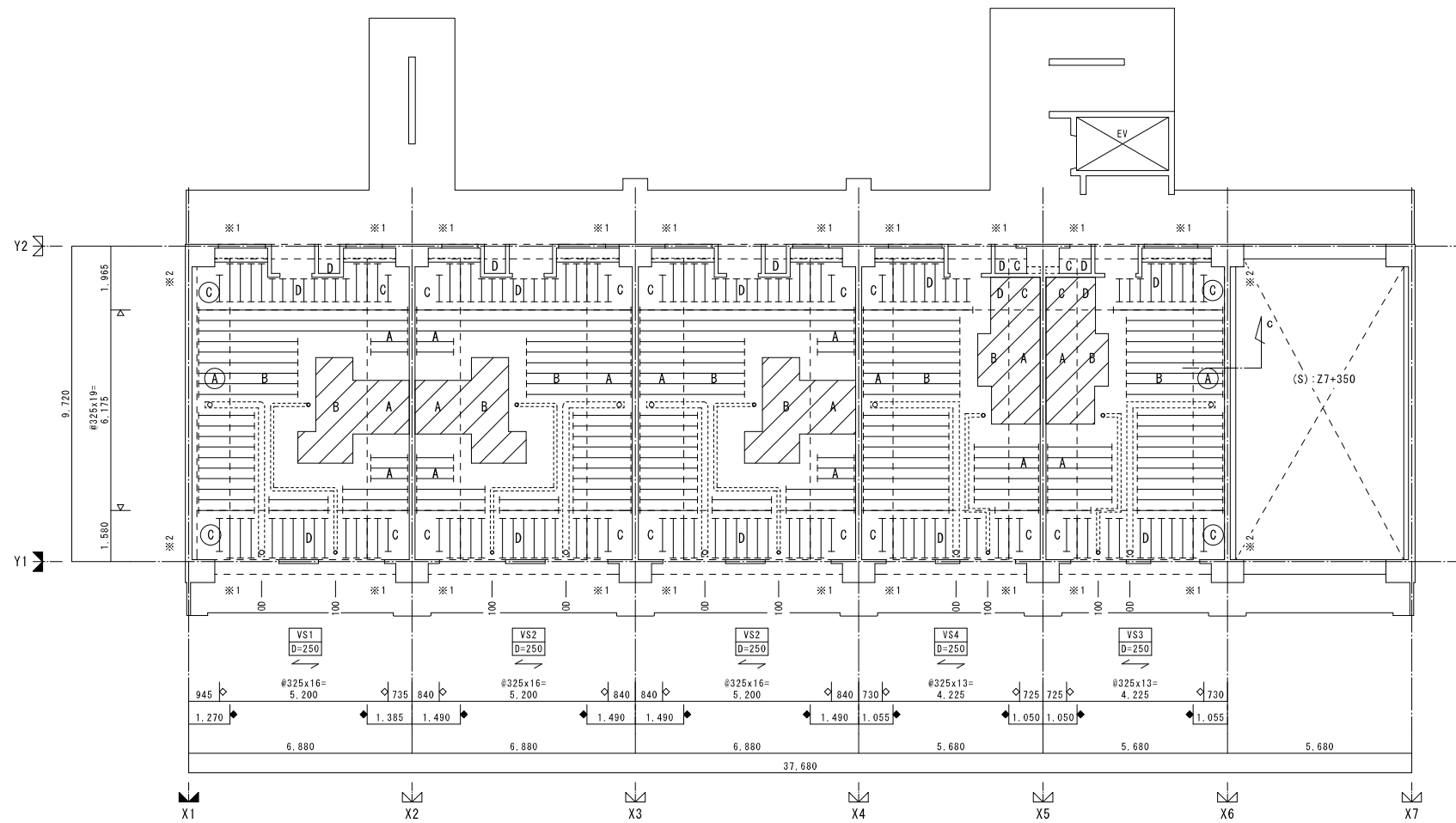
12. 隅角部の補強筋要領



13. 梁際中空スラブ配筋要領

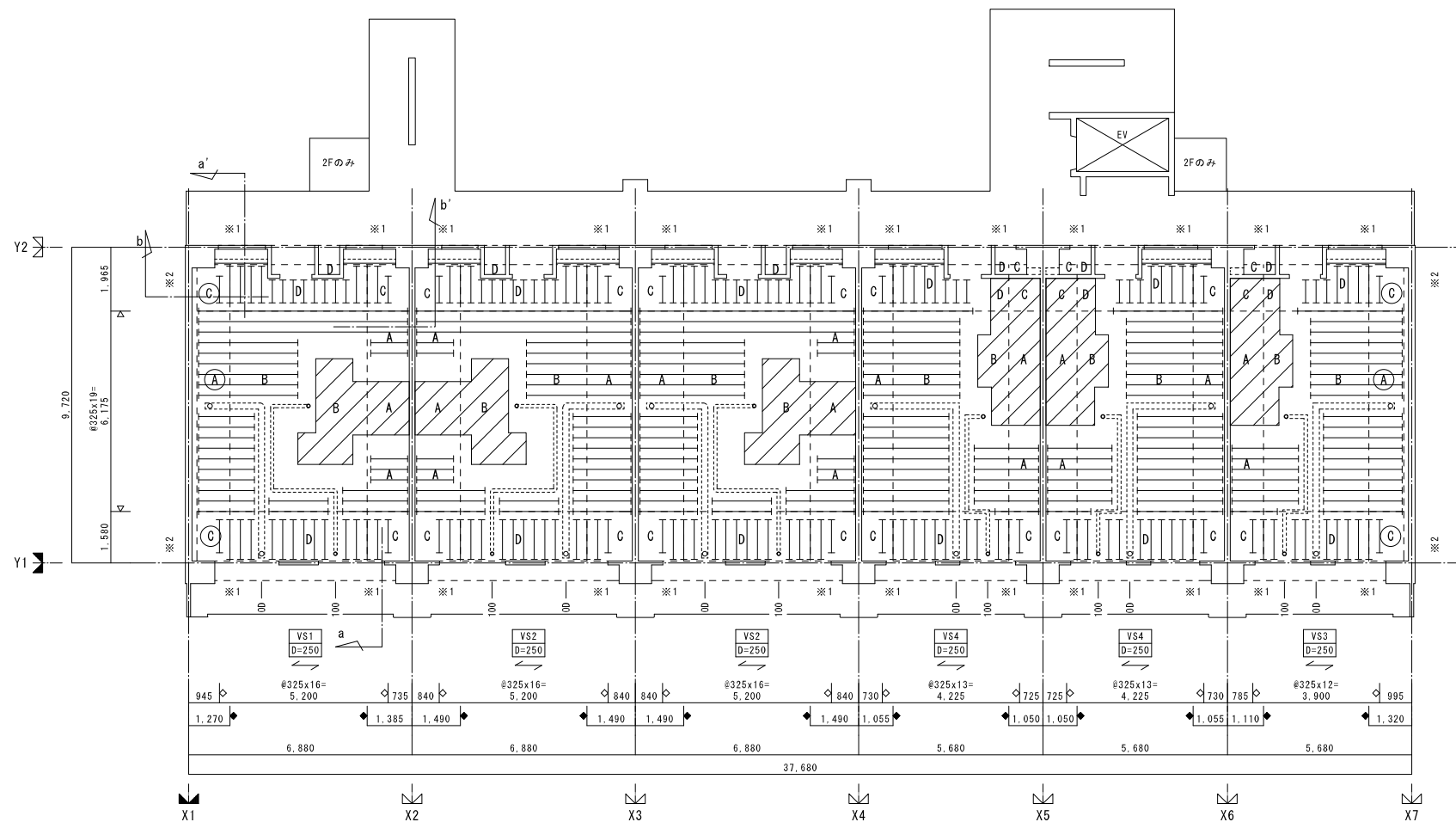


株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事（第10工区）		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	中空スラブ標準仕様書	縮尺 A1: - A3: -	No.S19
検 図	製 図	設 計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	



7階中空スラブ伏図 (見下付図) S=1/100

- 特記なき限り下記による
- 中空スラブ表記
 - ← は主筋方向を示す。
 - はパイプ径φ-200x100を示す。
 - ▷ は第1パイプ位置および配筋区分位置を示す。
 - ◇ は第1パイプ位置を示す。
 - ◆ は配筋区分位置を示す。
 - 中空スラブ天端レベル
 - Zn ± 0 を示す。(D=250 φ=200x100)
 - ▨ Zn - 100 を示す。(t=150)
 段差内Zn-100の配筋区分は下端筋を示す。
(中空スラブ欠込み部補強要領を参照)
 - 中空スラブ補強
 - ※1, ※2 は周辺受梁ねじれ補強位置を示す。
 - その他
 - 100 : 硬質塩化ビニル管 (薄肉) φ-100
 - OD : オーバルダクト φ-190 x 100
 - (S) は中空スラブ以外を示す。
- 中空スラブ断面配筋
c 断面 位置を示す。

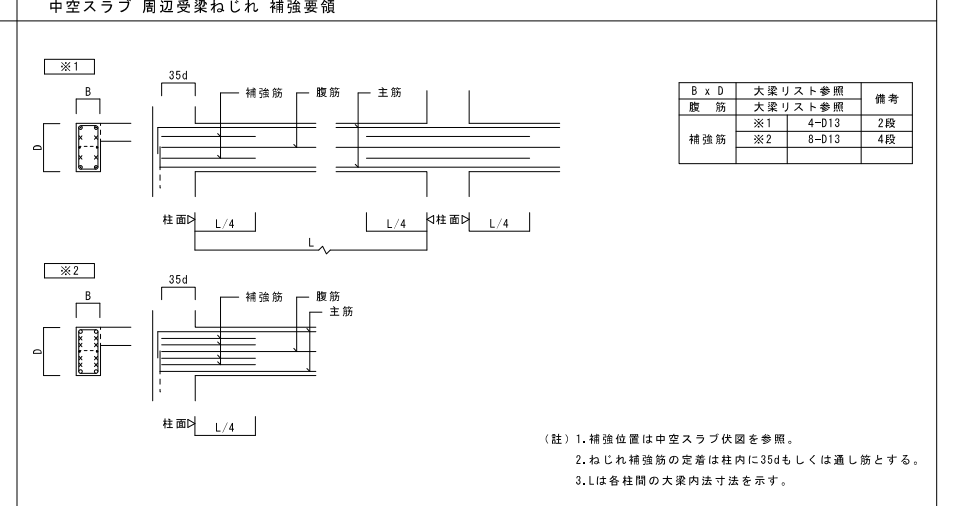
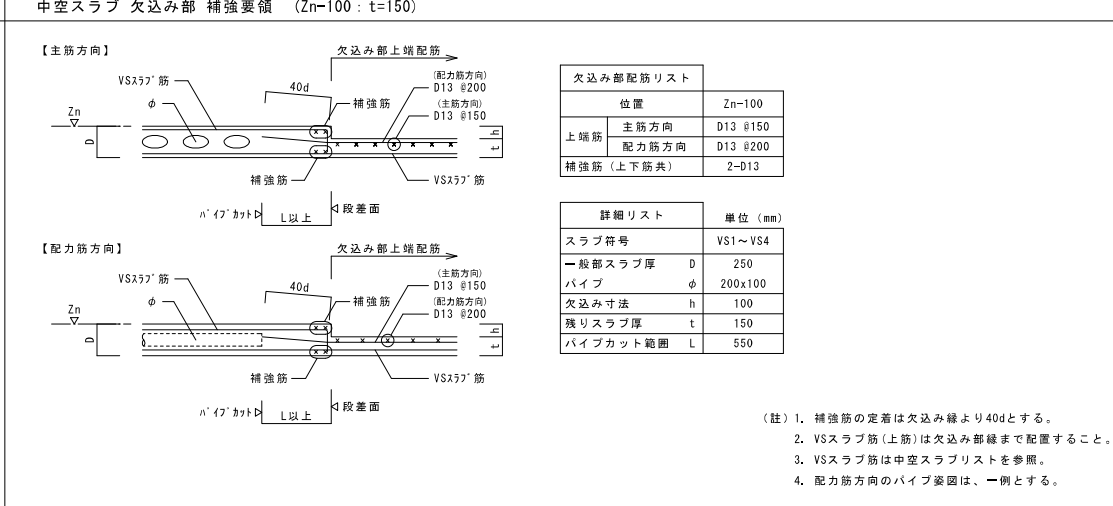
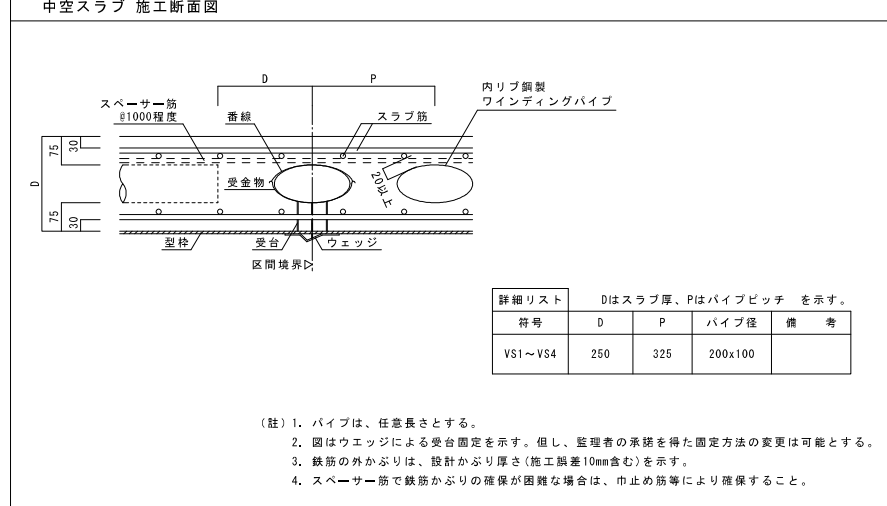


2～6階中空スラブ伏図 (見下付図) S=1/100

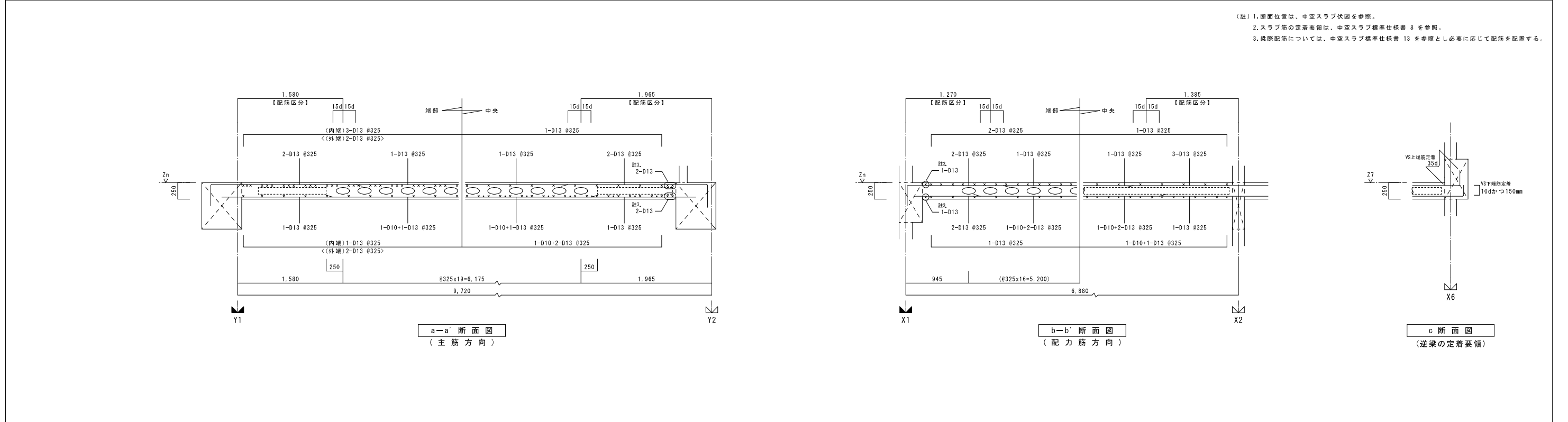
- 特記なき限り下記による
- 中空スラブ表記
 - ← は主筋方向を示す。
 - はパイプ径φ-200x100を示す。
 - ▷ は第1パイプ位置および配筋区分位置を示す。
 - ◇ は第1パイプ位置を示す。
 - ◆ は配筋区分位置を示す。
 - 中空スラブ天端レベル
 - Zn ± 0 を示す。(D=250 φ=200x100)
 - ▨ Zn - 100 を示す。(t=150)
 段差内Zn-100の配筋区分は下端筋を示す。
(中空スラブ欠込み部補強要領を参照)
 - 中空スラブ補強
 - ※1, ※2 は周辺受梁ねじれ補強位置を示す。
 - その他
 - 100 : 硬質塩化ビニル管 (薄肉) φ-100
 - OD : オーバルダクト φ-190 x 100
- 中空スラブ断面配筋
a-a' 主筋方向断面 b-b' 配力筋方向断面 位置を示す。

株式会社 E R Cデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	2～7階中空スラブ伏図	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200	No.S20
検 図	製 図	設 計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	

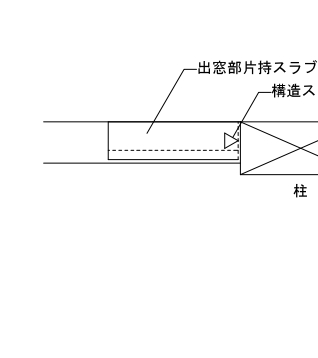
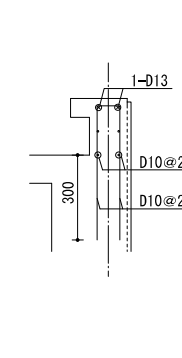
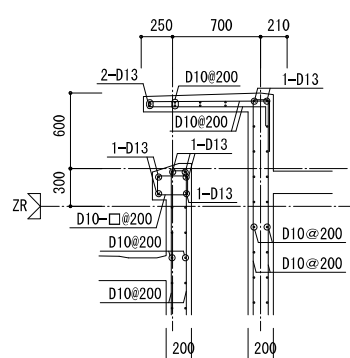
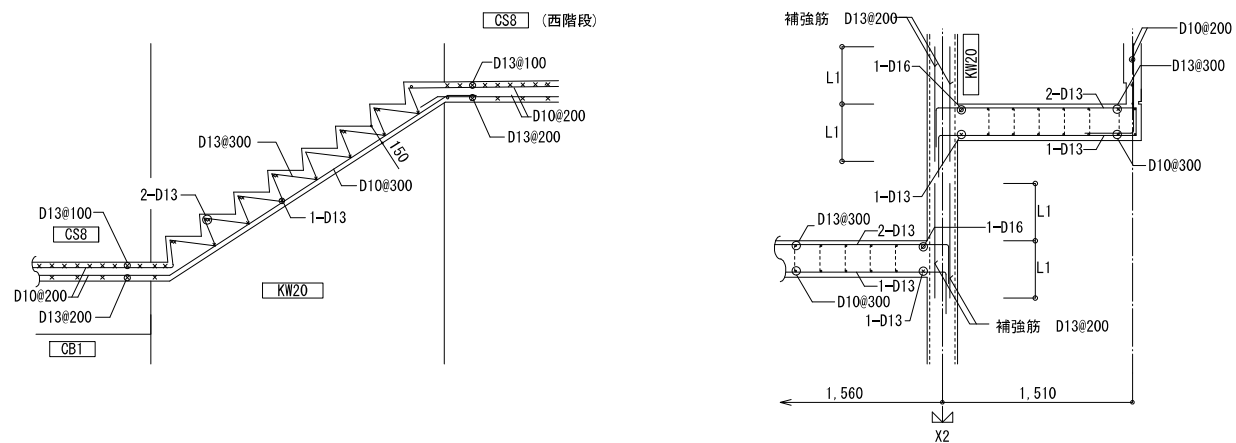
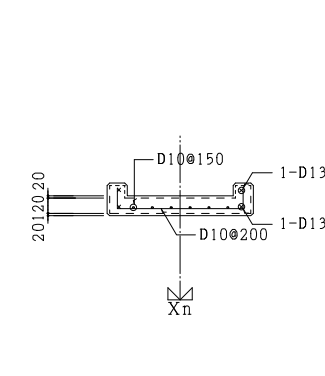
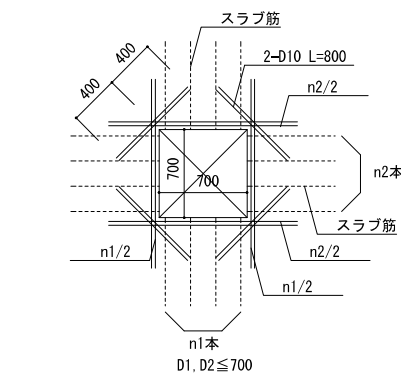
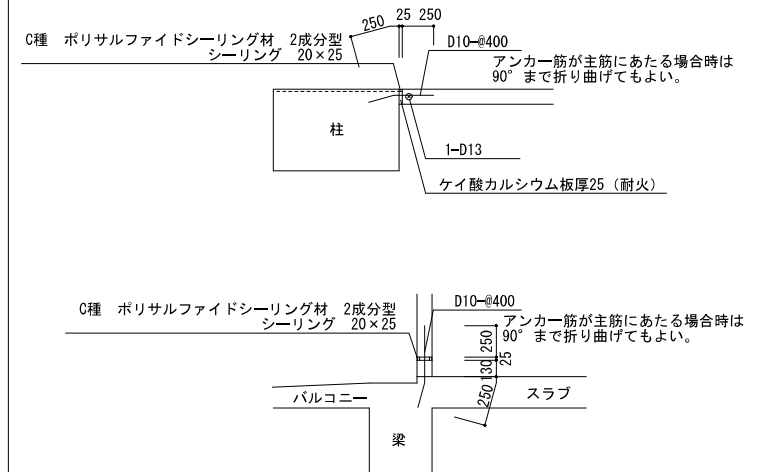
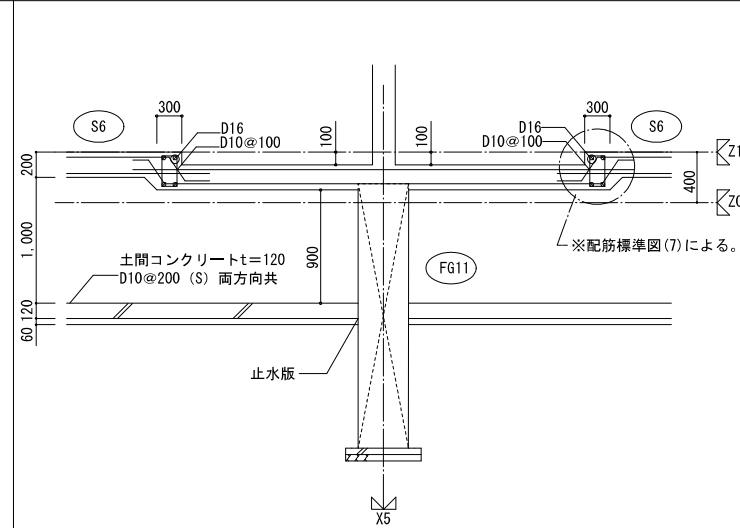
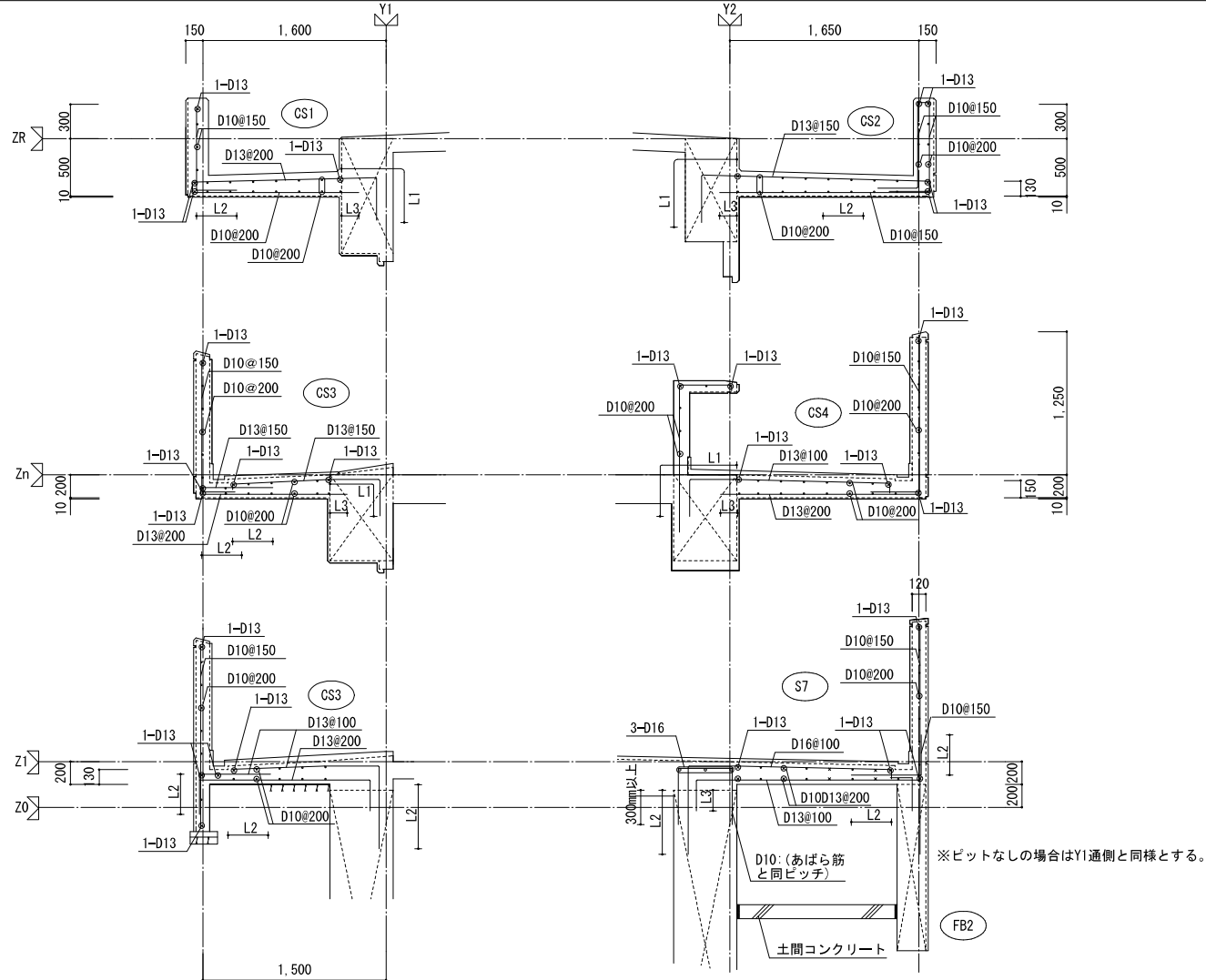
中空スラブ リスト S=1/30		(註) 1.スラブ筋の定着要領は、中空スラブ標準仕様書 8 を参照。																														
記号	VS1	VS2								VS3								VS4														
パイプ	φ-200x100 #325								φ-200x100 #325								φ-200x100 #325															
方向	主筋方向				配筋方向				主筋方向				配筋方向				主筋方向				配筋方向											
位置	外端		中央		内端		両端		中央		両端		中央		外端		中央		内端		両端		中央		両端		中央					
断面	(A)	(C)	B	D	A	C	D	(C)	C	B	(A)	A	A	C	B	D	D	C	B	A	(A)	(C)	B	D	A	C	B	D	D	C	B	A
上端筋	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	3-D13	3-D13	2-D13	1-D13	3-D13	3-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	3-D13	3-D13	2-D13	1-D13	3-D13	3-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D10+1-D13
下端筋	2-D13	2-D13	1-D10+2-D13	1-D10+2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D10+1-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	1-D10+1-D13	1-D13	1-D10+1-D13	



VS1 断面配筋図 S=1/30 (註) 特記なき限り ワインディングパイプ φ-200x100 を示す。



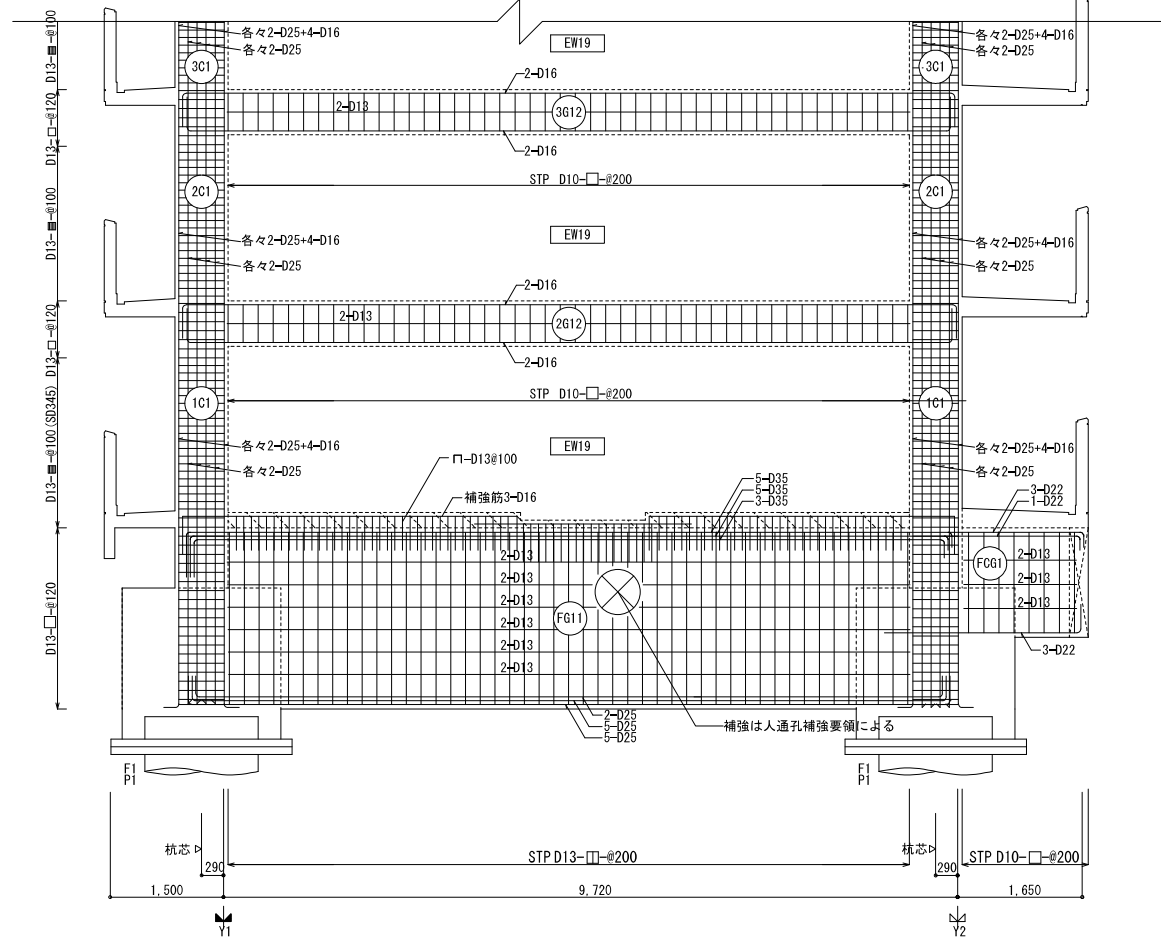
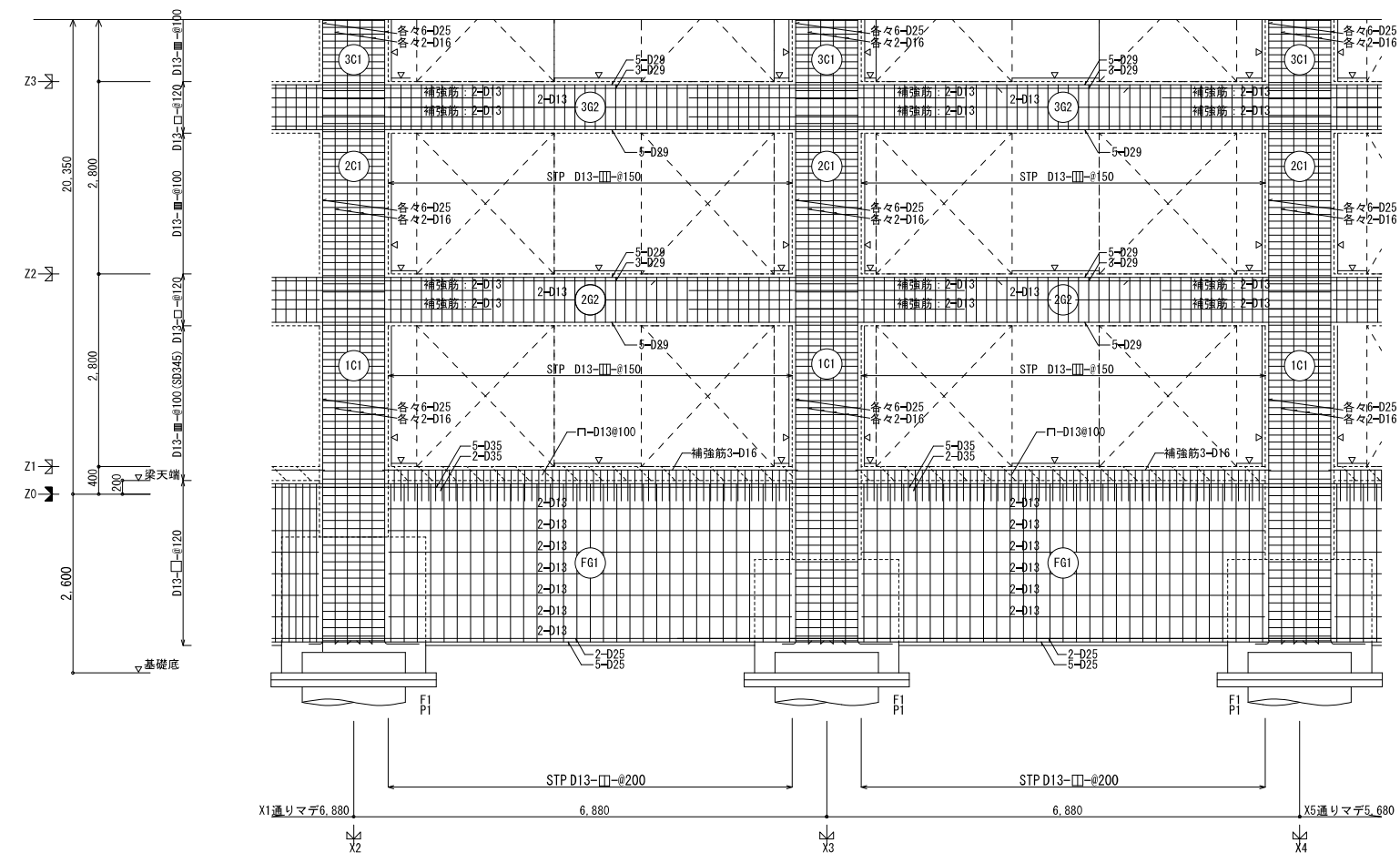
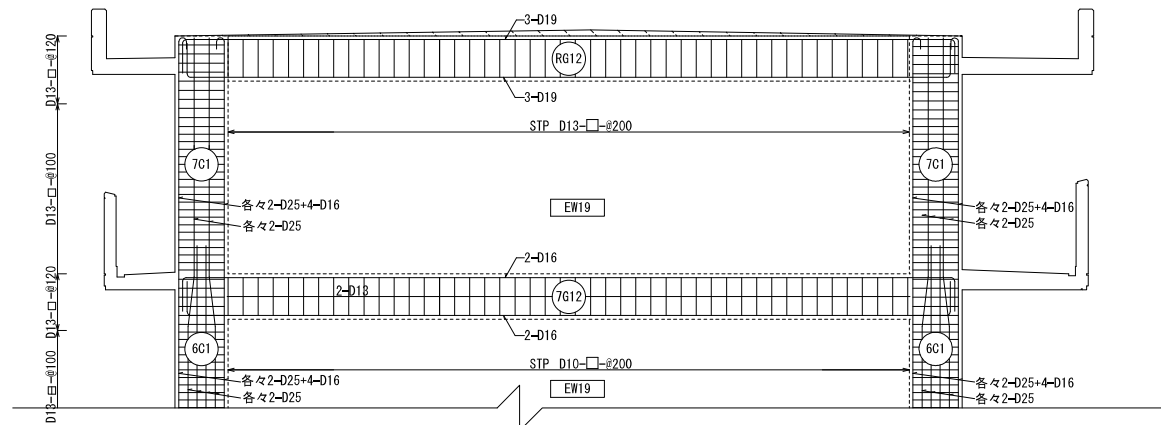
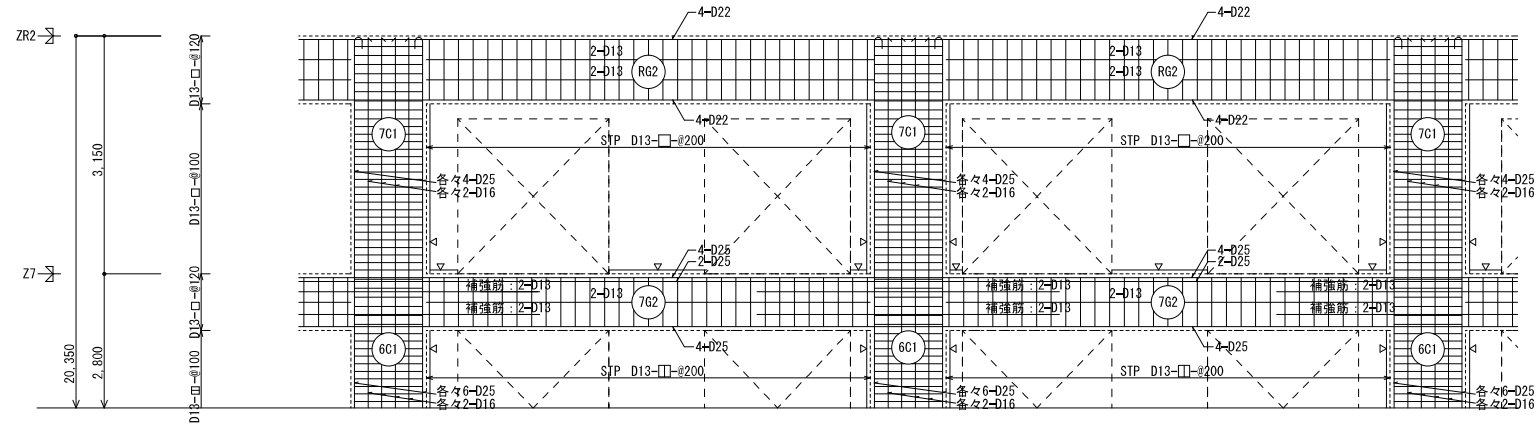
株式会社 E R C デザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3880号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	中空スラブリスト、施工断面図、 補強要領、断面配筋図	縮尺 A1 : 1/30 A3 : 1/60	No.S21
検 図	製 図	設 計	愛知県建設部建築局公営住宅課	
		平成29年 3月		



スリーブ記号	径	梁符号	梁幅B	梁成D	配筋種別
人通り	600φ	FG1, 2, 5	550	2, 700	H10
人通り	600φ	FG3	700	2, 700	H11
基礎梁	150・175φ	FG5	550	2, 700	H6
A	175φ	G1~3	450~600	750	H6
B	125φ	G1~3	450~600	750	H7

実際の施工にあたってはスリーブの位置、径、本数、補強方法について監督員と協議を行い、承認を得ること。
補強方法は計算書を監督員に提出し、承諾を得た上で既成品の使用は可能とする。
ただし、既製品を使用する場合は、第三者機関の評定、技術証明等を取付した梁貫通補強材とする。

梁貫通孔の補強					
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
符号	A	B	C	D	縦筋B・上下鉄筋Dは、あばら筋とする
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H8	4-2-D25	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H9	4-2-D29	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H10	6-2-D29	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H11	8-2-D35	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	



Y1通り架構詳細図 1/50

X3通り架構詳細図 1/50

- 特記なき限り下記とする。
- は増打部を示す。
 - はスリット位置を示す。
 - 2F階~7F階のY1, Y2, X1, X3通りの大梁について、腹筋は柱・梁接合部に35d以上定着させること。
 - 上記腹筋の梁部分の長さは1500以上とする。
 - 壁筋の定着長は、増打部を考慮せず、梁天(下)端位置より確保すること。

株式会社 ERCデザイン	株式会社 黒川建築事務所	平針住宅建築工事 (第10工区)		図面番号
一級建築士 登録第256338号 構造設計一級建築士登録番号 第3860号 代表取締役 池田寛彦	一級建築士 登録第100627号 代表取締役 黒川 高洋彦	架構配筋図	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	No.S23
核 図	製 図	設 計 平成29年 3月	愛知県建設部建築局公営住宅課	